

ボランティアガイド発足

西郷どん人気に対応

ゆかりの地
北川町倭野

地元6人で発足、案内や清掃も

延岡

延岡市北川町倭野地区を訪れる観光客をおもてなししようと、地元有志がボランティアガイドを立ち上げた。同地区にある西郷隆盛宿陣跡資料館の来場者を笑顔で出迎え、明るく声掛けや案内を行うほか、パンフレット配布や清掃など同館管理人の仕事も手助けし、

喜ばれている。

倭野地区は、西園戦争時の延岡・和田越の戦いに敗れた西郷隆盛が明治10年8月1日から17日夜まで宿陣した同資料館（旧尾藤四郎宅）は、ゆめ、関に開き、歴史が点在。NKK大河ドラマ「西郷どん」効果も相まって、多くの観光客が訪れている。

訪れている。

資料館は昨年度、過去最高の1万4000人が来場。先月だけでも例年並み以上の2725人が訪れるなど人気が高まっている。こうした状況は、「地元として何か役立つことはできないか」と若田数馬さん（64）やリーデンワーク期間（4月

重ねてボランティアガイドを立ち上げた。活動は5月からスタートしたばかり。観光バスの団体客も個々の来場者を明るく出迎え、パンフレット資料の配布や来場人数・都道府県の把握、簡単な説明などを行うほか、空いた時間には館内の掃除や花の手入れなどが行われていく。今後も観光客が増える時期などにサポートに入るといふ。

市教育委員会北川分室によると、今年のゴールデンウィーク期間（4月28日から5月6日）の資料館入館者数は、前年同期比462人の約4倍にあたる1793人。展示室が来場者で混雑することも頻繁にあり、管理人の児玉剛誠さん（76）も「1人で手が回らない時もあり、本当に助けられている」と感謝する。

ガイドの甲斐美恵子さん（70）は「地域の役に立つことができた。さらに歴史を勉強し、詳しい説明ができるようになりたい」。リーダーの岩田さんは「地域の宝を大切にしながら、倭野を訪れる人を地元の人が案内する取り組みを通じて地域を活性化できた」と話していた。

また、同会では協力してくれる仲間も募っている。問い合わせは延岡市教育委員会北川分室（電話 延岡46・2017）。



来場者（笑顔で声掛けする甲斐美恵子さん）（写真左）



大勢の観光客が訪れている西郷隆盛宿陣跡資料館

平成21年「天下」ひむか桜の会の前身「いつの日か桃源郷の会」の皆さん松田市長は右から3人目。同日の「16」日付本紙



みどりの愛護 国交大臣表彰

延岡 天下ひむか桜の会

26日、滋賀県で表彰式

花と緑の愛護に功績があった民間団体をたたえる第29回みどりの愛護一功労者の国土交通大臣表彰受賞者がきょう午後決まり、皇太子殿下がご臨席されて26日に滋賀県で開かれる「全国みどりの愛護の日」として表彰される。五ヶ瀬川堤防の樹木の手入れなどを行う「天下ひむか桜の会」(延岡市)が県内で唯一受賞する。

受賞団体は、都道府県や政令指定都市、国交省の地方整備局長などの推薦を元に国交省内の審査委員会で審査し決めた全国106団体。

「天下ひむか桜の会」(松田市長、50人)は、延岡の新たな名所づくりを目指し平成21年から活動。野地町の五ヶ瀬川右岸堤防沿い(延長2.3キロ)に河津桜300本を植樹、開花時期に合わせて菜の花100万本を開花させ、周辺の花壇の管理、除草、清掃などを行う。

■延岡花物語
このはなウォークの主会場となり、同会の活動に賛同して発足した「コノハナロード」市民応援隊などの協力で市民の憩いの場として日々整備が進み、昨年2月には国

交省の「手づくり郷土ふるさと賞」のグランプリを受賞した。花物語の来

■みどりの愛護のこと
い都市緑化意識の高揚と緑豊かな潤いある環境づくりの推進を目的に平成2年に始まった。公園

に集い、感謝状の授与や記念植樹などの催しを行っている。29回目を迎えるついでに、国土交通省と滋賀県、長浜市などで構成する実行委員会が主催して、滋賀県長浜市の滋賀県立長浜ドームで開催する。

客数も26年1万5千人、27年2万2千人、28年3万5千人、29年4万人と年々増加している。

松田市長は26日(土)に出席した後、29日午前10時から同省延岡河川国道事務所で報告会を開く。